大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成２９年度　学校通信

平成２９年１０月２０日

No.２５

前期終了10/10　後期スタート10/17

10月10日、１年生の入学から約半年、平成29年度の前期が大きな成果とともに、無事終了しました。１年生の白神体験、２年生の３日間の職場体験、３年生の修学旅行のように各学年の貴重な体験学習があり、陸上競技大会や総合体育大会、そして、学校祭等と全校で取り組んだ多くの活動が、生徒それぞれを大きく成長させてくれました。

そして、秋季休業を経て10月17日、後期がスタートしました。３年生はそれぞれの進路希望を明確にして、夢の実現に向かう後期です。１・２年生は、先輩から多くのことを引き継ぎ、西仙北中学校の中核となって、活躍する後期でもあります。一人一人が新たな目標を掲げた始業式でした。保護者やご家族の皆様、地域の方々には、後期の本校教育活動に対しまして、これまでどおりのご支援をお願い申し上げます。

ソフトテニス全県大会

雄和の県営テニスコートで行われた、「2017年第54回秋田県中学校秋季ソフトテニス大会」に、本校チームは郡市予選大会を勝ち抜き、個人戦二組及び団体戦に出場しました。

14日の個人戦には、高橋・小木田ペア、堀江・佐々木ペアの二組が出場しました。二組共に、１回戦はファイナルの末、突破しましたが、続く２回戦で惜しくも敗れてしまいました。高橋・小木田ペアは、２回戦もファイナルにもつれ込む熱戦した。

15日は団体戦が行われ、本校は、前日の個人戦で二組がベスト４で優勝ペアのいる二ツ井中学校と対戦しました。この試合の第２ペア高橋・小木田ペアは、１セットを奪うものの負けてしまいました。しかし、この試合の第１ペアの太田・鈴木ペアが、前半リードされながらもファイナルに持ち込み、接戦を制して勝ちました。

ゲームカウント１－１で、試合は第３ペアの堀江・佐々木ペアに託されました。堀江・佐々木ペアも、前半リードされましたが、粘りを見せセットカウント２－３で試合は第６セットに入りました。第６セットは互いに譲らず一進一退の攻防となり、デュースアゲインを繰り返す試合に応援団も一喜一憂して声援を送りましたが、最後、力尽きてしまいました。

本当に惜しい試合でした。しかし、チーム力は、全県レベルにあることを証明できた試合でもありました。さらなるレベルアップが期待できます。選手、応援団の皆様、お疲れ様でした。

ちなみに、二ツ井中学校は団体戦でも全県優勝だったそうです。おめでとうございます。

バスケ全県選抜対抗戦　佐藤君出場

大曲仙北中学校新人総合体育大会バスケットボール大会等を参考に郡市の選抜チームが編成され、14日15日に能代山本地区を会場に、「平成29年度第15回秋田県中学校郡市選抜バスケットボール大会」が行われました。本校バスケットボール部主将佐藤君も12名に選抜され大会に臨みました。本校からは、毎年選抜チームに選手が登録され活躍しています。今回は、大曲仙北チームは３勝１敗と頑張ったそうです。佐藤君は、「レベルが高く基礎をしっかりしないといけないと思いました。」と感想を述べながら、「バスケットカウントとなるシュー

トを２本決めることができました。」と、うれしそうに話してくれました。全県レベルでの経験をチームに広げ、今後は、個人としてもチームとしてもさらなる競技力の向上が期待されます。

吹奏楽部「音楽教室　in　西仙北小」

16日は、本校吹奏楽部が、西仙北小学校で５・６年生を対象に、「音楽教室　in　西仙北小」を開催しました。

これは、小・中連携の一環として小・中学生が交流できる場を設け、小学生が中学校生活に、憧れや希望をもてる機会の一つとして行っております。また、生の演奏に触れ音楽の楽しさを実感してもらうとともに、実際の演奏を通して各楽器の特色やしくみ、奏法などを知ってもらおうとする取組で、昨年度から始めた活動です。

今回も、吹奏楽部で使われている様々な楽器について、その音色や構造などをわかりやすく演奏を通して紹介し、好評でした。音楽教室の最後は、参加者全員で演奏するなど楽しい会になりました。西仙北小学校の皆様、貴重な機会をいただきありがとうございました。

イングリッシュキャンプ　in　八乙女

秋田県教育委員会では、英語力の向上等をねらいに、中高生を対象に年間数回にわたり「イングリッシュキャンプ」を実施しています。今回は13日から二泊三日の日程で中仙の八乙女交流センターを会場に行われましたが、本校から３年生の佐々木君と寺山さんが参加しました。三日間英語のみの生活で、英語の好きな二人は満足した三日間だったようです。スカイプで互いの国の特色を話して国を当てるゲームや、ハロウィーンの紹介がたいへん楽しかったと感想を話してくれました。

キャンプは、この後も定期的に開催されますので、コミュニケーション能力の向上、英語力の向上を目指し、生徒の皆さんは、ぜひ参加してみてください。

タイ王国からの研修視察

19日には、タイ王国からの研修視察がありました。４月早々に、地元の佐々木興業の社長で、ベラルーシの名誉領事にも任命されている佐々木正光さんの案内で、タイ王国文部省バンコク第２区日本語センター長　ウィ-ダ-ラット・ナウイチャ-先生（通称アップル先生）をお迎えしましたが、その縁で、アップル先生の学校の校長先生をはじめ６名の方々が、タイ王国教育者等訪問視察団として訪問されました。

デーブシリンロムカーオ学校のプラソン・スバンナポン校長先生をはじめ、副校長先生、ＰＴＡ会長、タイのロータリークラブの方々でした。同行者は佐々木さん、大曲南ロータリークラブ会長鈴木明美先生、市教育委員会高野一志教育指導課長で、本校と西仙北小学校を訪問し、授業参観をされました。その後、秋田県副知事を表敬訪問されたそうです。

当日、本校では、１年生は理科と美術科、２年生は社会科と数学科、３年生は英語科と音楽科の授業を見ていただきました。訪問団を代表して、スバンナポン校長先生からは、「授業を見て子どもたちの様子に感動しました。いろいろな指導方法も見せていただいたので、タイに帰って実践したいです。この交流を続けて、大仙市の教育関係者にもタイにぜひ来ていただきたいし、生徒の交換留学もできれば行いたい。」と、感想を交えたあいさつがありました。校長先生は、アップル先生から、４月の訪問の報告を聞いて、「ぜひ、西仙北中学校にいきたい。また、本校の紹介ムービーを見たいと思ってきました。」ということでした。ちなみに、校長先生は、教材教具や学校備品にもたいへん興味を示しておられました。

訪問記念にペン立てやコイン入れ等をたださきました。紹介ムービー視聴後は、拍手をしていただきました。ありがとうございました。（今回の訪問に合わせて、田中先生と本校英語職員に、英語版紹介ムービーを作製していただいておりました。ご難儀をおかけしました。）